

平成 28 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 林 郷子

最終学歴	京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学	
取得学位	教育学修士	
所属学会	日本心理臨床学会、日本箱庭療法学会	
専門分野	臨床心理学	
研究課題	児童・思春期の心理臨床に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学入門（前期） ・心理療法（後期） ・教育臨床心理学（後期） ・カウンセリング実習Ⅰ（前期） ・心理アセスメント実習Ⅰ（前期） ・臨床心理学応用実習Ⅱ（後期） ・臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（前期・後期）
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理学面接特論Ⅰ（前期） ・臨床心理学研究法（前期） ・教育心理学特論（前期） ・臨床心理学査定演習Ⅰ・Ⅱ（前期・後期） ・臨床心理実習（通年）
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・人間論Ⅱ
【教育上の特記事項】	対人支援に関するボランティア活動（主に心理支援）に携わっている学生を支援するための勉強会を開催した。学生のボランティア活動をサポートするシステムの構築につなげていきたいと考えている。	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市教育相談総合センター カウンセリング研修会（基礎コース）「子どもの心の成長」（2016年7月） ・斑鳩町 子育て支援講座「あそびの力とこどもの心」（2016年12月） ・不登校生・高校中退者のための学校相談会 教育講演会「“不登校”から考える」（2016年12月） ・斑鳩町地域子育てセンター 子育て相談相談員 ・宇陀市教育センター教育相談員 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	全学教務委員会委員、学生相談員、臨床心理クリニック運営委員会委員、臨床心理クリニック相談員、人権委員会委員、衛生委員会委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) ①親面接で「子ども」を語る意味	単	2017年3月	京都市教育相談総合センターカウンセリ ングセンター紀要, 6	親面接において、親自身の課題を直接的に取り上げない場合でも、親が「子ども」を語る中で間接的に課題に触れている場合があることを、課題や体験内容を直接話題に取り上げない心理臨床の技法を参照しながら論じた。
(その他) ①室井さんの論文を読んで	単	2016年12月	奈良大学臨床心理ク リニック紀要, 8	研修生の事例論文に対してコメントを行った。pp29-30
②「座談会」への感想	単	2016年12月	奈良大学臨床心理ク リニック紀要, 8	修士1回生が、「ケースとどのように出会い、深めるか」というテーマで行った座談会に対して、コメントを行った。pp59-61
③奈良大学臨床心理ク リニック活動報告(2015年4月 ～2016年3月)	単	2016年12月	奈良大学臨床心理ク リニック紀要, 8	奈良大学臨床心理クリニックの2015年度の活動内容を報告し、今後の課題について検討を行った。pp77-82
④「ふれあいアシスタ ント」事例検討会 指導助言		2017年2月	京都市教育相談総合 センター	教育支援センターでボランティア活動を行っている学生・院生の事例検討会で、指導助言を行った。
⑤地域臨床実践研究会2015 年度活動報告	単	2017年3月	地域臨床実践研究, 4	学生・院生のボランティア活動の推進を行っている地域臨床実践研究会について、2015年度の活動内容を報告し、総括を行った。pp24-27